

# 進路だより

## No.2

大阪府立堺支援学校・進路指導部

令和6年7月18日

### 高等部進路学習週間

高等部では、6月10日（月）～14日（金）の5日間、進路学習週間として作業実習に取り組みました。

【1年】高等部になって初めての進路学習週間となり、高等部卒業後の自分たちの進路について考え、基本的な「挨拶」「言葉遣い」「話を聞く」「身だしなみ」「報告・連絡・相談」を意識しながら、それぞれのグループや個人の目標を達成できるように取り組みました。慣れない作業や、長時間の作業に最初は戸惑いうまくいかない時もありました。作業によっては、やりやすいように工夫し、徐々に作業や時間にも慣れ、自分から担当教員に報告や相談をする場面が多く見られました。また、挨拶の声の大きさや仕草を大きくするなど、短い期間でしたが、大きな成長をすることができました。

今回学び実践できたことを、普段の学習や学校生活・地域生活にも活かしていき、卒業後の地域生活に向けて積み重ねていって欲しいです。

【2年】今回で3回目の進路学習週間になりました。これまでと同じく5班に分かれて、作業に取り組みました。作業内容は、冊子・しおり作り、空き缶つぶし、電線の解体、三宝ネジの組み立てと分解、木管抜き、緑化センターでの清掃作業、ドラッグストア様ご協力の品出し体験などでした。もう3回目ということもあり、全体的に落ち着いて作業に取り組むことができていました。一人で作業に取り組むことができるようになり、成長が実感できる時間となりました。

今回の経験を夏の福祉事業所実習で活かし、進路決定につなげてほしいと思います。

【3年】今回も4つの班に分かれて、最後の進路学習週間に取り組みました。1班はホウ酸だんごの製作や封筒づくり、園芸作業に、2班は色風船の袋入れや封筒づくりのほか、緑化センターの清掃を、3班は午前中にネジの組み立て、午後は木管ぬきとメリハリをもって作業に、4班はオリジナルソングをBGMに治具を使って木管ぬきの作業に取り組みました。

また、この期間中にグループホームの見学を行いました。親から離れて自立した生活を送っておられる様子の一部を見せていただき、将来の進路について視野を広げることができました。

3年生にとってはこれまで経験したことのある作業も多かったのですが、集中して一所懸命に作業する姿が印象的でした。「経験は大切」「継続は力なり」を感じました。3年間の進路学習週間で学んだことをこれからの学校生活はもちろんのこと、卒業後の生活でも活かしていってほしいと思います。

【中学部】12日（水）、高等部進路学習週間の実習に、AB班は体験参加、C班は見学で各教室を回りました。ネジの組み立て、空き缶つぶし作業など、先輩方が真剣な表情で黙々と作業に取り組む姿に、自分たちの数年後を思い浮かべながら、緊張感を持って体験・見学ができました。作業内容の説明も丁寧にしていただき、大変わかりやすかったです。高等部に行ったとき、高等部を卒業したとき、どんな力が必要なのか、今どんなことを頑張るのか、考えるよい機会になりました。

## きぎょうたいけんじっしゅう 企業体験実習 高2

6月6日～6月16日まで、生徒の実態に合わせて2日間～5日間の企業体験実習が行われました。今回初めて企業体験実習に参加した生徒は3名、2回目が7名、合計10名の参加となりました。はじめて実習に参加する生徒は2日間、緊張しながらも懸命に指示された仕事をがんばることができました。実習5日間の生徒は前回の経験を活かし、作業や接客など、集中してやり遂げることができました。高2の生徒が携わった業種は、小売店での品出しや在庫整理、清掃、事務作業、宿泊施設の客室清掃、軽作業等です。この実習を通して得た自信と、ご指摘いただいた課題をこれからの学校生活に活かしてほしいと思います。

## ふくしじぎょうしょ しよくぎょうくねんこうこうどうせつめいかい 福祉事業所・職業訓練校合同説明会

昨年に引き続き、福祉事業所合同説明会を、5月10日（金）に本校体育館を会場として開催しました。今回で第10回となり、今年度は84法人158事業所の参加がありました。今年度は、第1部「福祉事業所の事業形態について（堺市健康福祉局 障害福祉部障害福祉サービス課認定給付係より全体説明）」、第2部「各福祉事業所・職業訓練校の説明（個別ブースで実施）」の2部構成で実施しました。昨年度よりも参加人数が増え、本校の保護者は約70名の参加がありました。

事前に配布した資料をもとに、目的のブースを順に回る方や、各事業所の事業形態を調べながら回る方、空いているブースを順番に回る方など、皆さん各自の方法で情報収集されていました。

参加した保護者の方より「いろいろな進路があること、サービスの仕組みを知ることで大きな気づきとなった」や「子どもにとって何があるのか考えることに役立った」、「たくさんの事業所が参加されていて、選べるところが良かった」などのご意見をいただき、より細かい話や具体的な話ができる機会となりました。

来年度も保護者と福祉事業所とのつながりがもてる機会にしたいと考えています。

## ふくしじぎょうしょけんがくかい 福祉事業所見学会

5月20日（月）～5月24日（金）の期間に、5か所の福祉事業所見学会を実施しました。

今回は高等部の保護者の方を中心に、小、中学部の保護者の方にもご参加いただき、合計で約50名の方にご参加いただきました。見学会では、事業所の活動を見学すると合わせて、担当者の方との質疑応答の時間を設定しました。活動内容についての質問だけではなく、利用者さんの人数や定員、食事、送迎範囲など質疑応答の時間にさまざまな意見交換が行われるなど、活発な見学会となりました。

また、1月にも福祉事業所見学会を企画する予定ですので、ぜひご参加いただき、各事業所の違いを、保護者の皆様に体感していただけたらと思います。

## だい かい ほごしゃしんろがくしゅうかい 第1回 保護者進路学習会

7月3日（水）に本校高等部卒業生の保護者2名をお招きし、「高等部に入学されてからの進路を考え始めた頃」や、「具体的な取り組み（見学や体験）しながら考えたこと（事業所独自の特徴や確認しておくこと）」、「進路先を決めるにあたって重視したこと」、「支援学校を卒業して思うこと」などについてお話をいただきました。事業所選びのポイントとしては、本人の特性や学校生活の活動の様子を踏まえたり、教員も含めて普段かかわっている方からのアドバイスを参考にしたりと情報収集をさまざまな方面からおこなったとの話を聞きました。全体での説明の後は、講師さんを交えてのグループ別の座談会をしました。参加の保護者の方からは、実習時の様子から進路決定のまでの流れや事業所の情報について等の質疑応答があるなど、有意義な学習会となりました。

次回の保護者対象の進路学習会は1月26日（日）【休日授業参観日】に「グループホームについて」をテーマとして予定しています。日が近くなりましたら、案内を配布しますので、ご確認ください。ご参加をお待ちしています。